

1. 日時 平成28年度(2016年)11月25日(金)3校時
2. 対象 3年組(男子名、女子名計名)
3. 場所 多目的室
4. 題材 「じゃがいもの歌」
5. ねらい
  - ・互いに他の人の意見を積極的に聴いて、その発言を評価し合う(道徳指導要領2-B:[友情、信頼]「友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと」および[相互理解、寛容]「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にすること」)
  - ・対話の規則を守り、発言する(道徳指導要領2-C:[規則の尊重]「約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ること」)
  - ・他の人の発言を正しく受け止めること(道徳指導要領2-C:[公正、正義、社会正義]「誰に対しても分け隔てをせず、公正、公平な態度で接すること」)
  - ・他の人の意見を尊重し、対話を通し、協働して解決を追求すること

6. 授業計画(全3時間)

第一時 コミュニティボールを作ろう。

第二時 「じゃがいもの歌」を読んで、自分の考えを述べ、他の人の意見を聞いて、みんなで問いを作ろう。  
(本時)

第三時 みんなで選んだ問いをについて議論し、最後に評価をしよう。

7. 本時の学習

(1) 目標 コミュニティボールを用いた対話によってお互いの意見を聞いて作品の理解を深める。

(2) 展開(赤のゴチックは実際の経過)

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1. 最初教師が児童に、「最近楽しかったこと、うれしかったこと、素晴らしいと思ったこと、不思議に思ったこと」を問い、答えてくれた子になるべくたくさんの問いをする。(3分)	・教師はこれからの活動のモデルを実際に示す。特に問いの5W1Hを意図的に使う。
2. 同じ活動を、児童二人がペアになって、交互に行う。(2分ずつ、計4分⇒ <b>ここまで12分</b> )	・この活動を通して、これからの授業のやり方や、評価の仕方を学ぶようにする。 ・お互いの顔が見られるように輪になって座る。
3. コミュニティボールを用いた対話のルールや進行の仕方を理解する。(1分【 <b>1分30秒</b> 】)	・ルール：ボールを持っている子だけが話す。
4. 題材を教師が朗読する。(4分⇒ <b>ここまで15分</b> )【 <b>3分30秒</b> 】	・子ども達に自由にボールを回して多くの考えを話させる。
5. 題材について、自分達の考えを伝えあう。 (20分) (20分後にスタート)【 <b>17分の議論</b> 】 この時、ビッグ・クエスチョンを示す。 「素晴らしいと思ったこと」 「不思議に思ったこと」 「気になったこと」	・子ども達が意見を出しにくそうにしていたら、ボールを順番に回して話す機会をつくる。

<p>6. 第三時に向けて、問いを作る。(8分)</p> <p>7. 振り返りシートの配布。その説明を受けて、記入する。(5分)</p>	<p><b>【これをする時間はなかった】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• これまでの対話を振り返らせる。</li> <li>• 論点を明確にして、これから対話する問いを作る。</li> </ul>
--	---

児童に問いかけるビッグ・クエスチョン

1. 「じゃがいもの歌」を聞いていたとき、どんなことを考えましたか？
2. さとしの行動や考えのうちで、素晴らしいと思ったものはありましたか？ それはどんな行動や考えですか？
3. さとしの行動や考えのうちで、不思議に思ったこと／気になったことはありましたか？ それはどんな行動や考えですか？
4. とおるの行動や考えのうちで、素晴らしいと思ったものはありましたか？ それはどんな行動や考えですか？
5. とおるの行動や考えのうちで、好きでないものがありましたか？ それはどんな行動や考えですか？

以下の問いは子どもたちには少し難しいと感じた。

- なぜさとしはなんだか楽しくなってきたのでしょうか？
- どうしてさとしはジャガイモを見ているうちにクラスの友だちの顔を思い浮かべたのでしょうか？

皆で絵を描いてみよう。(これは、実際にはできなかった。美術の先生と協力してできるかもしれない)

せわずきの子(やさしい子)の顔はどんなじゃがいもかな？

とおるの顔はどんなじゃがいもかな？

さとしはどんなじゃがいもににていると思いますか？

「じゃがいもの歌」を読んで、問いを作ることができるかな？(道徳的な問いを作るための練習。実際はできなかった)

- . . . . は、みんな同じでしょうか？
- . . . . は、. . . . をすべきだったでしょうか？
- . . . . は、ふさわしいことでしょうか。
- . . . . は、どれくらいよかったでしょうか？
- . . . . は、よいことでしょうか？
- . . . . は、. . . . したとしたらもっとよかったでしょうか？

8. 日時 平成28年度(2016年)12月2日(金)3校時  
 9. 対象 3年組(男子名、女子名計名)  
 1. 場所 多目的室  
 2. 題材 「じゃがいもの歌」  
 3. ねらい

- ・互いに他の人の意見を積極的に聴いて、その発言を評価し合う(道徳指導要領2-B:[友情、信頼]「友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと」および[相互理解、寛容]「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にすること」)
- ・対話の規則を守り、発言する(道徳指導要領2-C:[規則の尊重]「約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ること」)
- ・他の人の発言を正しく受け止めること(道徳指導要領2-C:[公正、正義、社会正義]「誰に対しても分け隔てをせず、公正、公平な態度で接すること」)
- ・他の人の意見を尊重し、対話を通し、協働して解決を追求すること

4. 授業計画(全3時間)

第一時 コミュニティボールを作ろう。

第二時 「じゃがいもの歌」を読んで、自分の考えを述べ、他の人の意見を聞いて、みんなで問いを作ろう。

第三時 みんなで選んだ問いをについて議論し、最後に評価をしよう。(本時)

5. 本時の学習

(1) 目標 コミュニティボールを用いた対話によってお互いの意見を聞いて、問いを深め、思考力を育成する。

(2) 展開

学 習 活 動	指導上の留意点
<p>1. 誕生日順に円を作る。2人ペアで、「自分の好きなもの(こと)、きれいなもの(こと)」を問い、答えてくれた子になるべくたくさんの問いをする。(自分の好きなもの(こと)、自分のきれいなもの(こと)を板書)(各自2分、計4分) <b>【輪を作るのに3分30秒、ペアの活動が終わるまで7分20秒経過】</b></p> <p>2. コミュニティボールを用いた対話のルールや進行の仕方を理解する。(1分秒) <b>【あらかじめ、以下のこと(注1)を板書】</b></p> <p>3. 前時に自分達の考えを出してもらったものから、問いを作る。(10分)                      問いは模造紙に書いておく。 <b>【注2】</b>                      新たに問いができるかを問う。                      どの問いにするかを決める。 <b>【ここまでで25分35秒経過してしまった】</b></p> <p>4. 問いをみんなでディスカッションする。(20分) <b>【議論は何とか20分を確保】</b></p>	<p>・友だち同士、別な形で、あらたに知り合う。</p> <p>・お互いの顔が見られるように輪になって座る。</p> <p>・ルール：ボールを持っている子だけが話す。途中で、疑問に思ったり、聞こえなかったりしたら、手をあげて、聞くことは可能。</p> <p>・子ども達に自由にボールを回して多くの考えを話させる。</p> <p>・子ども達が意見を出しにくそうにしていたら、ボ</p>

<p>5. 振り返りシートの配布。その説明を受けて、記入する。(10分) 【今回はこれほどきなかった】</p>	<p>ールを順番に回して話す機会をつくる。 ・裏面もあることを伝える。</p>
---	---

注1

2. の板書

- 「友だちが話しているときは、ちゅういしてきく」
- 「友だちが話し終わったら、手をあげて、さされてから発言する」
- 「だれだれさんにしつもんです」
- 「私は、だれだれさんの意見とおなじですが、……………」
- 「……………の意見にさんせいです。なぜなら……………」
- 「……………の意見にはんたいです。なぜなら、……………」
- 「……………の意見を聞いて、考えがかわりました。」

注2

3. の問い (前時の子どもたちの発言から、問いをいくつか分類しておいた)

- ・なぜ、とおるは年下の女の子にはやさしいのに、友だちには強がるのか？
- ・とおるは、なぜ、妹にはやさしいのか？
- ・なぜ、とおるはあんなにやさしいところがあるのに、学校ではやさしくないのか？
- ・なぜ、とおるは友だちにはつよがってけんかするけど、ほかのことではやさしい子なのか？
- ・なぜ、とおるは人によって顔が違うのか？
  
- ・さとしはとおるのことを考えているうちに、なぜ、じゃがいもの歌を歌ったのか？
- ・なぜ、さとしはじゃがいもの歌を作ったのか？
- ・なぜ、さとしはほかのじゃがいもたちが歌っているように思えたのか？
  
- ・さとしはじゃがいもの顔を見て、なぜ人の顔を思いついたのか？
- ・なぜ、さとしはじゃがいもを見て、友だちの顔を思いうかべられたのだろうか？
- ・さとしは、じゃがいものでこぼこだけで、なぜ友だちの顔をおもいうかべることができたのか？
  
- ・さとしは、とおるの顔をしたじゃがいもを見て、なぜ、くすつとわらったのか？
  
- ・なぜ、さとしはじゃがいもをもって、でこぼことか、いろんなかたちがあるというふうに思ったのか？
- ・さとしは、さいしょはじゃがいもが同じだと思っていたのに、じゃがいもをとってみてきがついたのは、どうしてか？
  
- ・さとしは、じぶんがどんなじゃがいもににていると思ったか？
- ・私ににているじゃがいもはあるのかな？
  
- ・とおるは先生におこられているのに、なぜ宿題をしないのか？
- ・とおるはいくらやきゅうがすきでも、宿題はがんばるべきではないか？
- ・とおるはテレビを見ながらしゅくだいできたはずなのに、どうして、テレビだけみたのだろうか？
  
- ・さとしのおかあさんは、なぜ中くらいのを5こと言ったのだろうか？
- ・とおるはひまさえあれば、やきゅうをやっているけど、だれといっしょにやっているのだろうか？
  
- ・僕はさとし君のじゃがいもを見たいと思いました (のぐちこうだい) ⇒なぜ？

- ・僕はおる君のもうちょっといいところを見てみたいと思いました（ごうだりょう）⇒なぜ？
- ・僕はじゃがいもの歌を歌っているのがおもしろかった（なかむらひなた）⇒なぜ？

### 授業に対するコメント

#### よくできていた点

- ・名前を読んで、ボールを投げる。
- ・ボールを持っている人だけが話をして、他の人はよく聴く。

今回は、「・・・さんに質問です」という発言が目立った。

- ・「・・・さんに質問です。なぜ、泣き叫んだりすると思ったのですか。」
- ・「さっきの質問の続きです。・・・だったら、どうするんですか？」
- ・「・・・さんの意見に賛成です。なぜなら、席替えとか人に代わってほしいからです。」

1. 日時 平成28年度(2016年)12月9日(金)3校時
2. 対象 3年組(男子名、女子名計名)
3. 場所 多目的室
4. 題材 「じゃがいもの歌」
5. ねらい

- ・互いに他の人の意見を積極的に聴いて、その発言を評価し合う(道徳指導要領2-B:[友情、信頼]「友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと」および[相互理解、寛容]「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にすること」)
- ・対話の規則を守り、発言する(道徳指導要領2-C:[規則の尊重]「約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ること」)
- ・他の人の発言を正しく受け止めること(道徳指導要領2-C:[公正、正義、社会正義]「誰に対しても分け隔てをせず、公正、公平な態度で接すること」)
- ・他の人の意見を尊重し、対話を通し、協働して解決を追求すること

6. 授業計画(全4時間)

第一時 コミュニティボールを作ろう。

第二時 「じゃがいもの歌」を読んで、自分の考えを述べ、他の人の意見を聞いて、みんなで問いを作ろう。

第三時 みんなで選んだ問いをについて議論し、最後に評価をしよう。

第四時 議論を深めよう。(本時)

7. 本時の学習(前時には議論する時間が少なかったため、さらに議論の時間を設ける)

(1) 目標 コミュニティボールを用いた対話によってお互いの意見を聞いて、さらに問いを深め、思考力を育成する。

(2) 展開

学 習 活 動	指導上の留意点
<p>6. 前時と同様、誕生日順で円を作って坐る。</p> <p>7. ボールにはコミュニティボールという名前があることを伝える。(ここまで3分)</p> <p>8. 前時に続いて、同じ問いで議論を進める(2分) 問いを板書する。「とおるは、いくら野球がすきでも、宿題はがんばるべきではないか?」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと意見を言いたい人はいますか。</li> <li>・みんなのぎろんを聞いていて、何か気がついたり、発見したことがありますか。</li> </ul> <p>9. 前時に発言しなかった子にボールを回す。(5分)</p> <p><b>【実際はなかなか発言しない子や全く発言しない子に時間を取られてしまう】</b></p> <p>10. この後、前時でよくできていた点を伝える。(2分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いの顔が見られるように輪になって座る。</li> <li>・ルール：ボールを持っている子だけが話す。途中で、疑問に思ったり、聞こえなかったりしたら、手をあげて、聞くことは可能。</li> <li>・子ども達に自由にボールを回して多くの考えを話させる。</li> <li>・子ども達が意見を出しにくそうにしていたら、ボールを順番に回して話す機会をつくる。 <b>【実際はなかなか発言しない子や全く発言しない子に時間を取られてしまう】</b></li> <li>・意見を持っていても、恥ずかしくて手をあげていない子が多数いる可能性がある。 <b>【実際はかなりの子が発言】</b></li> </ul>

<p><u>よくできていた点</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名前を読んで、ボールを投げる。</li> <li>・ボールを持っている人だけが話をして、他の人はよく聴く。</li> <li>・「・・・さんに質問です。なぜ、そう思いましたか。」</li> <li>・「Aさんの意見に賛成です。なぜなら、席替えとか人に代わってほしいからです。」</li> </ul> <p>6. 議論の中で面白いなと思ったことについて、(5分) (これは場合によっては省略)</p> <p><b>【実際に省略】</b></p> <p><u>議論の中で面白いなと思ったこと。【この部分も省略】</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「Aさんに質問です。とおる君の学校では宿題忘れたら、席替えやるのは、この学校だけだと思います。」</li> <li>・「席替えをしない学校もあると思います。」</li> <li>・このような質問が出てくるのは、なぜですか。</li> </ul> <p>「Bさんに質問です。なぜ泣き叫んだりすると思ったんですか。」</p> <p>B: 「ずっと勉強を忘れていたら、ずっと怒られて、かわいそうだったからです。」</p> <p>「なんでかわいそうだったんですか。」</p> <p>B: 「泣くと思ったからです。」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ここで、笑いが起こったのですが、なぜ、笑いが起こったと思いますか。</li> </ul> <p>議論を進める。(18分)</p> <p>議論が「野球よりも宿題の方が大事」ということに終始すれば、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「とおるは先生に怒られるということが分っているのに、なぜ宿題をしないで野球ばかりしているのだろう？」という問いを提出する。</li> </ul> <p>7人のグループで話をさせる。</p> <p>1 1. 話した結果を発表してもらおう</p> <p>1 2. 振り返りシートの配布。その説明を受けて、記入する。(10分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Aさんの発言が、テキスト理解では不適切などところがあることに気づかせる。</li> <li>そして、結局、Aさんは「野球よりも勉強の方が大事」という意見を出すことになる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・循環論法に気づかせる</li> </ul> <p><b>【実際は、「とおるは先生になぜ怒られるのかということを知っていたのか、知っていなかったのか？」という問いを出した。】</b></p> <p><b>【時間がないため、グループでの話し合いはできなかった】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・裏面もあることを伝える。</li> </ul>
---	---

やはり、全体としてはまだ不慣れであったので、もう1時間くらいこの授業を続けられたら、子どもたちも授業の意味を理解してくれたと思われる。

子どもの振り返りノートでは、記入する時間がなかったが、以下のようなコメントがあった。

- ・今日の学習はとてもいいと思いました。
- ・今日の学習はいつもと違って・・・(これ以上書く時間がなかった)

・今日は、先生からも質問があったけど皆最後は2この意見に分かれていて、まずは、分らないに賛成したけど皆の意見を聞いて、分っているに変わった。

・最初はよく分らなかつたけど、あとから、どんどん意味が分かってきて、楽しくなってきたから、これからもやってほしいです。友だちも、分かりやすい言葉で、言ってくれるから、分かりやすいです。